

令和2年度当初予算への要望

【地域要望】

令和元年8月16日

豊田市議会自民クラブ議員団

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

【挙母地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	新規	崇化館	駅前東口拠点施設及び芝生公園の整備	豊田市の玄関として駅前にできると、多くの人達が集まり笑顔が見えるような芝生広場を含む拠点施設の開設は集客力と滞在時間を持たせる空間として意義があり、多様な活用が期待されるが、それと合わせて西口バスターミナルや駅舎等の整備が推進される中で豊田市の独自性を生かした新しい都市空間の創出となることから、芝生広場とともに拠点施設での魅力ある管理・運営を要望する
2	新規	崇化館	名鉄豊田市駅舎の改修整備	豊田市駅舎は1986年開設しており、朝夕時の混雑は大変厳しく、イベント時も階段の乗降客はあふれ危険な状態であることから、北口改札口を開設する事により人の流れが緩和でき、また、階段の乗降が急角度で高齢者が大変苦勞されており、エレベーターも案内不足であることから、市駅舎の改修整備を要望する
3	新規	崇化館	観光案内所の創設	豊田市駅の前に、ウエルカムセンターがあり、ツーリズムとよたからの発信で、豊田市のイベント、観光地及び土産物等の案内、飲食店の情報と宿泊所の斡旋など、気さくにあらゆる情報発信にて、来て見て楽しい豊田市が、来訪者に対しおもてなしの精神で接することで、地域や商店街に貢献できるシステムの観光案内所の設置を要望する
4	新規	崇化館	災害時帰宅困難者の対応	愛知に被害を及ぼす地震は主に南海トラフ沿いで発生する海溝型巨大地震で、豊田市周辺では平日の昼に起きた場合の帰宅困難者は4100～4300人と予測するが、その人達をどの様に救済するかについて、行政と事業者をはじめ自治区や商店街などで災害に強く対応できる組織連携を構築し、整備や備蓄など対応していくことを要望する
5	新規	崇化館	中心市街地の空き店舗対策	地域形成に支障を来す空き店舗の発生の要因は、来街者また来客減少と店主の高齢化、後継者不足などの原因があると思われる。更に空き店舗の発生は、景観を損ね衛生問題や犯罪の発生、治安の不安など負の要因を増大させる懸念が出て、住民や来街者の減少を誘発するので、行政と地域商店街などの連携のもとで情報交換をし、空き店舗対策補助金の有効活用を促して活気のあるまちづくりを要望する
6	継続	朝日丘	市道青木新生線の道路拡張	枝下用水～小坂若林線（市道青木線）約500M間は狭隘で、南部分は田畑で3～4M落差があり、対向車がある場合、待機を余儀なくされるとともに、歩道も設置されておらず、自転車・歩行者と車との接触事故。また、車同士の事故により、南側田畑に転落など、事故が予想される。この部分は北側が緑地指定されており、公園用途以外の道路拡張は難しいのが現状である。 （状況） ①枝下用水の耐震化調査完了。 ②北側5名の地権者の同意も南側の地権者と比較して交渉が容易と思われる。 ③都市緑化区域の除外検討を再度要望。 ④車道、歩道など一体的整備 ⑤童子山小北側道路の道路拡張による道路使用

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

7	継続	朝日丘	小川町4丁目北側と豊田ダンボール倉庫東側間の狭小道路改修	普通乗用車1台分の余地しかなく、対向車はもちろん自転車との擦れ違いも出来ず、接触事故も起きている。 また、緊急車両車も通行困難で早急な対応が必要。
8	継続	朝日丘	通称金下道路の道路狭小の解消	市福祉センター北側道路から西に向かうと、豊田加茂建設事務所を越えると道路が狭く、且つS字形の道路形状である。この道路はR248からの樹木地区への通過道路などで車両も近年増加の傾向。そのため安全対策の観点から拡幅の要望。
9	継続	朝日丘	県道豊田東郷線整備	豊田南バイパスの供用開始後、更なる交通量の増加が予測され駅西バスターミナルの集約など交通量増加の要因となる。県道豊田東郷線（都市計画東郷豊田）は幅員約10mと狭く現在車道歩道ともに通行において非常に危険な状態である。早期の道路拡幅工事を要望する。
10	継続	朝日丘	市道小坂三軒2号線改良の早期事業化	市道小坂三軒2号線は衣丘小学校北西角から市道三軒家八ツ迫線までの区間で挙母揚水跡地である。当地域は朝夕近隣道路から多数の通り抜け車両があり危険性が高い。小中学生の通学路の安全性確保のため早期の事業化が望まれる。幅員確保ができず市道開設が困難となった場合は、自転車歩行者専用道として整備をすることを要望する。
11	継続	朝日丘	新生公園の早期実現・樹木公園の整備	震災時の第1次避難地として広域避難機能とともにスポーツ施設としての住区基幹公園として早期計画の実現が望まれる。この公園は計画構想から十数年が過ぎ、その後進展もなく土地所有者も市街化区域のため、固定資産税補填による土地利用もあり、民間利用などにより、虫食い状況である。そのため、公園計画自体に支障が生じる可能性が大である。あわせて樹木公園の考え方について枝下用水の耐震調査完了により早期検討。
12	継続	朝日丘	毘森公園整備	毘森公園は市街地中心部に位置する貴重な公園であり災害時の広域避難場所に指定されている。公園設備の老朽化が進み公園の再整備を望む声も多い。特に近隣住民からは治安への不安の意見が多数寄せられている。本件①見通しを悪くしている危険・余剰な樹木の伐採整備、②公園内において歩道の設置、狭隘な部分の車道の拡幅など公園内道路の整備の2点を要望する。
13	新規	朝日丘	逢妻男川護岸部分擁壁修復	逢妻男川の源流点である三軒自治区内では護岸擁壁の老朽化が著しい。当河川は地域の雨水の受け皿となっている。近年多発する豪雨災害や発生が危惧される大規模地震など地域住民の大きな不安材料となっている。擁壁部分の抜本的修復工事を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

14	継続	朝日丘	バス運行路線の新設	<p>①豊田市駅～小川・細谷町経由 ②主要公共施設（美術館・文化会館）経由の巡回バス路線新設 （１）都心部の交通渋滞緩和及び乗入れ抑制と環境モデル都市としての低炭素社会実現のための路線新設 （２）核家族化による高齢者の福祉対策 （３）免許返納者対策 （４）昼間時の乗り合いタクシー利用による効率化</p>
15	新規	朝日丘	枝下用水幹線水路耐震工事に伴う周辺整備	<p>枝下用水幹線水路沿線は枝下緑地の都市計画決定を受けており、毘森公園から枝下緑地までの区間については一部未整備区間となっている。毘森公園と枝下緑地一体となった整備によって本市の拠点公園としての役割を果たす事が期待されている。地域住民の憩いの場としてまた小中学生の通学路、災害時における避難所への通路の確保など周辺整備を要望する。</p>
16	継続	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	<p>安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成すれば、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境が整う。</p>
17	継続	豊南	交番設置	<p>豊南地区は、トヨタ自動車本社で地域が分断されており、特に地域性に留意され、地域住民の安全安心のため、交番設置を強く望む。</p>
18	継続	逢妻	市道：本地柿本線の拡幅延長／柿本町	<p>当該市道、柿本町2丁目交差点から柿本町3丁目交差点の区間、平成30年度にタイヤメーカー隣接区間まで、拡幅工事が終了した。残り、2丁目交差点と東側60mの区間の早期拡幅を要望する。また、南バイパスとの交差点より西側、県道宮上知立線までの区間、特に柿本町地内は見通しの悪い屈曲部、道幅が急減少する区間があり危険。早期の拡幅を要望する。</p>
19	新規	逢妻	市道：美山土橋線の拡幅／深田町・土橋町	<p>土橋自治区の区画整理に伴い、深田山自治区との接道、美山土橋線への交通量が増加する見込みである。土橋町6丁目から深田町3丁目、聖心町4丁目を通して豊田南バイパスまでの道路の拡幅を要望する。</p>
20	継続	逢妻	市道豊田西部線のみよし市との早期開通	<p>みよし市三好ヶ丘より豊田市内への進入道路である市道福谷一色線は、交通量も多く幅員も狭く、小中高校生の通学路として、大変危険である。南バイパス工事が進む中で、バイパスと交差する、「市道豊田西部線」久岡町～三好ヶ丘間の早期事業化を求める。</p>
21	新規	逢妻	宮口一色ふれあい広場整備	<p>宮口一色ふれあい広場は、区民のスポーツの中心として使用されているが、グラウンドの状態も悪く、水源も無い状態である。面積の拡張も含めて整備が急がれる。</p>

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

22	新規	逢妻	広久手町地域広場整備	地域の唯一の広場で、子供たちの遊び場や高齢者の憩いの場所として多くの区民が利用している。しかし、地盤が悪く少量の雨でも使用できない。また遊具の劣化もあり「地域ひろば」としての整備が必要である。
23	新規	逢妻	基幹バス路線：豊田市駅西口～聖心寮前の延伸／土橋駅	現在、深田山地区の公共交通は、名鉄バスの上記路線のみであり、車・自転車などを運転出来ない高齢者は、病院、市役所、銀行などへの行き来に困っている。現在運行中の上記路線の土橋駅までの延伸を要望する。
24	新規	逢妻	宮口新田地区の排水路整備	大雨の度に、道路が冠水したり、通学路に雨水が溢れてしまう個所があり、地区内の排水路整備が必要である。（宮町2丁目・新町1丁目・4丁目）
25	継続	逢妻	東新町3丁目の排水路整備	大雨の度に、雨水が歩道に溢れ、通学の児童が危険であり、また、付近の個人宅にも雨水が進入する状態である。緊急に対応が必要である。
26	新規	梅坪台	梅坪中央公園再整備	梅坪中央公園は、愛環梅坪駅、梅坪台交流館に隣接し、平成16,17年に都市公園と整備されて以来、地域の中核的な公園として様々な形で利用がされている。今後、梅坪台交流館と一体となった、地域の中核的な公園としての機能をより果たしていくための公園再整備を要望する。
27	新規	梅坪台	上豊田駅周辺の総合的な都市基盤施設整備	上豊田駅周辺は第8次総合計画において、居住誘導拠点に位置付けられ、都)浄水駅北通り線・都)西山上挙母線4車線化、豊田北バイパス工事、区画整理事業による面整備など名鉄豊田線上豊田駅を中心とした多くの事業が計画されている。これら事業と連携した道路整備や排水計画など上豊田駅周辺地区における総合的な都市基盤施設の整備を要望する。
28	新規	梅坪台	籠川洪水氾濫等に対応した樹木伐採・掘削等の河川整備	近年多発する豪雨災害を踏まえ、籠川流域においては、樹木繁茂・土砂堆積等によ流下阻害によって洪水氾濫による著しい被害が発生することが懸念されている。矢作川合流点から伊保川合流点区間において早急な河川整備を要望する。
29	新規	梅坪台	枝下用水幹線水路耐震工事に伴う周辺整備	枝下用水幹線水路沿線は、枝下緑地の都市計画決定を受けており、未整備区間に加え用水により地域が東西に分断されており、生活環境や地域コミュニティーに与える影響が大きいため水路工事に合わせた、小中学校の通学路、災害時における避難所への通路の確保など、周辺整備を要望する。
30	継続	浄水	浄水地区 交番設置	浄水地区の区画整理事業が進み、人口が急増しており、さらに近隣地区の上豊田駅周辺のまちづくり事業も、いよいよ準備段階へと進むなか、近隣に交番は無く、地域の治安維持のためにも交番設置を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

【高橋地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	高橋	県道487号線・中金～古瀬間線の拡充（県道松平志賀中金線拡幅）	矢並線～山中町間の県道487号線の一部道路舗装整備は、平成28年度より進んでいるが未実施の道路整備補修を要望。矢並線～山中町間の通学路確保と車両交通事故防止の為、道路拡幅・拡充を計画的な方向性を作成して頂き要望する。
2	新規	高橋	平井町8丁目付近（平井区民会館北側）側溝の新設と道路整備	昨年度より平井町自治区より地域要望とされており、H30.10.29日に土木課との立会い済（区長・岩田市議）。本道路は下り坂となっており平井小学校の通学路となっている。一部側溝が無いために雨水が土とともに、下部側溝に流れこむため、側溝の新設と道路の整備を早急に要望する。（自治区への回答は整備に向け排水策を含めた土地調査を行うと回答されている）
3	継続	高橋	市道岩滝～百々線の延伸	平井小学校～県道細川線（平井子ども園先）までの延伸。昨年度に測量が実施され、平成31年度当初予算では市道新設費として（仮）百々線が明記された。早期に住民への説明会の日程を確定し、地元の調整をはかり市道岩滝～百々線の延伸の早期事業化に向けて実現させることを要望する。
4	継続	高橋	県道則定線と市道高橋1号線への信号交差点設置の確定	寺部区画整理事業に伴い県道則定線が今後4車線になるが、中央分離帯が設置される事で高橋自治区の住民が分断されてしまう為、市道高橋1号線と県道則定線へ信号交差点の設置を要望する。H14年から始まった住民説明会からも強く要望され、現在の市道高橋1号線はその為に拡張をした経緯も有る。一昨年には、豊田警察署、愛知県、公安へ直接陳情を実施。現在は暫定的な交差点となっているが、確定を要望。自民クラブ地域要望としては昨年に引き続き要望。
5	継続	高橋	県道則定線・高橋1号線から高橋2丁目交差点～内・外環状線までの4車線化	現在の寺部区画整理事業に伴い、県道則定線の4車線化が進んでいる。高橋の架け替えの目途はついたが、要望課題とされている4車線化は高橋1号線までとなっており、その先の高橋2丁目交差点までの約210m～内環状線～外環状線までの4車線化を要望する。まちづくりの観点から寺部区画整理事業の完成予定時には目途をつけて頂くよう要望する。
6	継続	美里	高橋細谷線 竜宮橋の整備	野見小学校西交差点から長興寺9丁目交差点の4車線化工事の早期完成を要望する。
7	継続	美里	県道細川豊田線の拡幅・改修	長年要望を出しているが、道路整備が進んでいない状態歩道がない区間もあり、生活道路、通学道路としても危険な状態。歩道整備を含めた拡幅・改修の整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

8	継続	美里	市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備	高橋細谷線の4車線化整備に伴ない交通量が増加傾向にある中で、豊田東高校に来る生徒が多く通学に使用している、市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備の早期完成を要望する。
9	継続	美里	檜尾川の浚渫	泉町から矢作川に抜ける檜尾川に、木が生えたり土砂が溜まっているので、浚渫を要望する。
10	継続	美里	上野大見線 東部給食センター前の歩道整備	東部給食センター前の歩道が途中で切れているために、危険な状態になっている。歩道整備を行い安全に通行出来るように要望する。
11	継続	益富	国道301号線整備（益富拡幅）	主要道路である301号線の4車線化の早期事業化決定を要望する。（泉町2丁目交差点～松平橋まで）
12	継続	益富	古瀬間墓地公園線のT字路の交差点改良と信号機の新設	古瀬間町に新しく益富包括支援センター完成し稼働開始した。今後は地域福祉の中心的施設のため、多くの車輛が出入りし交通量が増加傾向のため、交差点改良を含め信号機の新設を要望する。
13	継続	益富	益富交流館の駐車場整備	駐車場が、現在56台のうえ自主活動グループが増加し、交流館利用者数も増加している。利用者が集中する午前中は、周辺の路上に駐車している状態。数年前から駐車場不足対策を市に要望していたが、一向に解決されない状態である。増加整備を要望する。
14	新規	益富	上野大見線の歩道整備	小学生の通学路になっているが、交通量が多い路線にも関わらず、歩道がなくガードレールも事故で変形をしている。子供の安全な通学路を確保するため歩道整備を要望する。
15	継続	益富	上野大見線及び古瀬間二本木線のガードパイプの新設	志賀ニュータウンと古瀬間グリーンパークから古瀬間小学校に通う歩道にガードパイプがなく、通勤での多くの車が通行しているため子ども達に危険が生じているので、ガードパイプの新設を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

【上郷地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	上郷	市道広美榊塚線の整備／榊塚東町	①拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良をすること。 ②市道広美榊塚線と市道東榊塚郷東線を結ぶこと。 ③市道東榊塚東線を柳川瀬公園内道路と結ぶこと。
2	継続	上郷	柳川瀬公園体育館改修	①体育館の改修 ②駐車場の整備 ③全体施設の再見直し
3	継続	上郷	広美町の三連水車の早期修繕	上郷地区のシンボルである「三連水車」は、こどもたちそして地域の憩い場として、利用されている。故障から、2,3年経過し、本来の姿を待ち望んでいる。修繕を早急に要望する。
4	継続	上郷	榊塚西町自治区 公園の建設／榊塚西町	1100世帯、3200人の自治区に遊具のある公園が一箇所しかない。子どもたちの遊べる場所や地域の人たちの憩いの場所と大災害時の避難場所となる公園の建設を要望する。
5	継続	上郷	家下川の堤防の散策と上郷藪間公園との整備	家下川の藪間公園沿いで地元有志により蛍が最近飛び交う。子供たちが水に触れるように整備を要望する。
6	継続	上郷	愛環北野榊塚駅周辺整備	①駅ロータリーの設置 ②駐車場整備 ③駅周辺の道路整備
7	継続	上郷	愛知環状鉄道の「三河上郷駅」のロータリー内の駐車場の整備と駅構内のエレベーター設置	「三河上郷駅」の駅前の駐車場が自由に無料で使用できるため、すぐ満車になり、困っている。有料または、駐車場を降車場として整備を要望する。
8	継続	上郷	御手洗川の整備／畝部西町	県道から畝部こども園西側の御手洗川を暗渠化し緑道として活用することにより、園児の安全性も図られるため早期整備を要望する。
9	継続	上郷	豊田市南部工業団地早期実現（福受地区）	地元アンケート調査も終わり、地元、地権者の熱意が年々高まっている。進出希望企業と調整し、早期に地権者と交渉を切に希望する。
10	継続	竜神上郷	トヨタ上郷工場南側の市道の拡幅（市道竹下和会線）	豊田工業高校の生徒が通学路として使用しているトヨタ自動車(株)上郷工場南側の市道（市道竹下和会線）は、道路幅が狭いにもかかわらず、近年通過交通が増加の傾向にあり、非常に危険な状態にある。道路幅を拡幅し、通学で使用する自転車が安心して利用できるスペースの確保を要望する。
11	継続	末野原	県道本地鷺鴨線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鷺鴨線大林町12丁目交差点に屋台の店舗が4軒あり、営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上・防火上そして環境的にも問題があり、愛知県に対し早期撤去を市からも強く要望していただきたい。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

12	継続	末野原	豊田市挙母南部地区に体育館の建設（末野原地区他）	豊田市挙母南部地区（豊南・末野原・竜神）には多くの市民が在住し、その住民の「するスポーツ」を支えるためにも、当地区に地域型スポーツ施設の整備として地域体育館の建設を要望します。
13	継続	末野原	三河豊田駅前広場の改修	現在、愛知環状鉄道駅の三河豊田駅の駅前広場には噴水が設置されているが、年間を通して水は流されてなく、また多くの樹木があり、駅前広場としての機能を阻害している。また、地元住民による「三河豊田駅前広場を考える会」も設立され、交通結節点機能を高める駅前広場に全面改修を要望します。
14	継続	末野原	永覚町の愛環永覚駅周辺環境整備及び周辺道路・通学路の一带整備	永覚駅の駅ロータリー設置・駐車場整備（駐車場追加）・駅周辺道路整備（駅南側道路は狭くて暗くて危険）・宅地開発などによる利便性向上及び、平子地区の児童の通学路・生活道路において平子橋北側の明治用水沿いの道路拡幅対策などの早急な安全対策。道路新設も考慮した周辺一带整備を要望します。
15	継続	末野原	宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の急斜面法面の草刈り対策及び集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止の護岸拡幅等工事の実施。
16	継続	末野原	家下川の川幅拡張等による、集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策	家下川と明治用水の交差する部分は川幅が狭く、集中豪雨時には、排水できず上流の住宅地・田畑等の浸水が予想されるため、拡張工事等の早急な浸水防止対策を要望。
17	新規	末野原	鴛鴦町上大岨（県道本地鴛鴦線沿い）の家下川に蓋等の対策をして暗渠化による通学路・遊歩道整備	鴛鴦町上大岨（県道本地鴛鴦線沿い）の南北に通じる、家下川に蓋等の対策をして暗渠化による、通学路・遊歩道の設置希望。
18	新規	末野原	御幸本町会館（ふれ愛ホール）の地代	御幸本自治区の（ふれあいホール）の底地は、豊田市から賃借しており、地代の積算については75%減免を受けているが、そもそも土地の評価価格が高く、減免されても高額の地代をしはらっている。上限額を設定してほしい。また、大林区民会館は、民間借地であり減免されることはない。助成制度の新設をお願いしたい。
19	継続	末野原	永覚新町 地縁法人化に伴う登録免許税等の減免	自治区の地縁法人化に伴い、土地・建物を登記する際に発生する登録免許税等の税負担が、都市部にある永覚新町自治区の場合400万円を超える額となり、地縁法人化することで自治区経営を圧迫することは、本末転倒である。自治区地縁法人化を施策として推進するならば、高額な税負担等の対策をすべきである。
20	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備（鴛鴦町他）	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴦・永覚の各自治区内は整備されていない。従って、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の早期着手及び、地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

【高岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	高岡	県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線 渋滞対策 若林東町	この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響があるので対策を要望する。
2	継続	高岡	里道の市道認定と道路拡張 / 若林東町	この道路沿いには、病院と竹元公園が新設され、また将来には住宅地のが計画されているため現在の道路幅では課題となることが予想されるので、市道認定と道路の拡張を要望する。
3	継続	高岡	都市計画道路の事業化 / 若林西町 若林東町	地区内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。 現在、若林駅周辺では土地区画整理事業が計画されており都市計画決定された道路区域であっても事業化がされていないために住宅の建設が進んでいる箇所がある。 将来に向けて、若林駅を中心とした拠点地区周辺での都市計画道路の早期全線建設は、南部地区のまちづくりに大きな効果をもたらす。 また、南部地区として宅地等の要望が多い地区(特に鉄道駅があるのでより要望が多い)において、安定した税収を確保するためにも生活の基盤となる道路の早期整備が重要となる。
4	継続	高岡	若林東町上り戸(六ツ辻)交差点の改良 / 若林東町	当初この交差点は、「若林駅周辺土地区画整理事業」において事業計画地区内であったが、諸事情により事業計画地区外となり、別事業として進められる事となった。 しかし、未だその計画については示されてはおらず、土地区画整理事業・三河線複線高架事業やその他周辺道路整備が進み交差点周辺の渋滞が緩和され交通の流れが良くなっても、元々この交差点は変則であるためさらに危険な交差点となることが予想される。 周辺で進められている事業(区画整理・鉄道高架など)に合わせて、あるいはそれよりも早く交差点改良を要望する。
5	継続	高岡	若林神社前交差点改良 及び 若林花園線の拡張 若林西町	土地区画整理事業は、まだ仮同意ができた段階であり、事業終了はまだ先であるが、それまで近隣住民の安全は先延ばしで良いのか？ 若林神社前交差点は、北方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先に変形交差点(六辻交差点)があったりするため渋滞が発生する。 JAの店舗もあり、近隣地区より車で人が集まるので土地区画整理事業の事業化待ちでは遅く、事故等が発生する前に対応して頂きたい。 また、交差点には歩道橋もあるが子どもたちの通学路としては使われておらず、車等の視界の妨げとなっているため、撤去する必要がある、早期に整備を要望する。
6	新規	竜神	県道：本地鶯鴨線の整備/区間 曙町2丁目～大林町4丁目	県道本地鶯鴨線は、大林方面への抜け道利用で交通量が多い。しかも狭い上に側道整備もされていない。通学路でもあり、子供たちの安全を最優先する道路整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

7	新規	竜神	都市計画道路土橋竜神線の早期全線事業化	現在土橋区画整理事業が順調に進んでいるが、区画整理事業の中で、土橋竜神線が国道419号から竜神地区に入るところで行き止まりになっている。竜神町内は道路幅も狭く、国道419号線から県道豊田安城線に抜ける車両が竜神町内の生活道路に進入しないためにも、都市計画道路の早期の着工と全線の開通を要望する。
8	継続	竜神	地域文化広場の運動施設の拡充	地域文化広場は、現在では豊田市南部地域のスポーツと文化活動の総合複合施設として多くの市民の活動の拠点となっている。しかし運動施設としては野球とサッカーが共用のため手狭で、サッカーグラウンド等施設の拡充を要望する。
9	継続	竜神	名鉄三河線竹村駅の利便性の向上と踏切の渋滞対策	現在竹村駅は、駅前のスペースも少なく、特に雨天時には、送迎の車の出入りで、その混雑はたいへん危険な状態となっている。名鉄三河線の複線化にあわせ、乗降客の利便性の向上と安全対策、そして踏切の渋滞対策を要望する。
10	新規	竜神	大風川の法面整備／寿町	大風川堤防は、法面が急斜面で維持管理に危険が伴う。また不法投棄なども有り、防犯、防災、美化の為に、コンクリートなどによる土堀整備を要望する。
11	新規	竜神	竹村小学校区の公共交通機関の空白地域の解消	竹村小学校区には、名鉄三河線竹村駅はあるものの、駅から半径1km、バス停から500m以上離れた公共交通機関の空白地がある。また、今後急速に進む高齢化に伴い、運転免許証を返納する高齢者が増加する中で、病院や商業施設に通う自家用車に代わる日常的な足を確保する必要がある。地域バスや、デマンド交通など多様な制度を活用した、公共交通システムの導入を要望する。
12	継続	竜神上郷	トヨタ上郷工場南側の市道の拡幅（市道竹下和会線）	豊田工業高校の生徒が通学路として使用しているトヨタ自動車(株)上郷工場南側の市道（市道竹下和会線）は、道路幅が狭いにもかかわらず、近年通過交通が増加の傾向にあり、非常に危険な状態にある。道路幅を拡幅し、通学で使用する自転車が安心して利用できるスペースの確保を要望する。
13	継続	若園	（都）西岡吉原線道路新設事業1	現状、中根町では面的な整備手法を踏まえた取り組みを検討しているが地元の意見は決定していない。また吉原町では道路が農地を斜めに横断することから、用地取得が困難であり、周辺地域の整備を含めた利用方法を検討してほしい。いずれも都市整備部と連携して早期工事着手を要望します。
14	継続	若園	（都）西岡吉原線道路新設事業2	名鉄三河線～吉原町地内の主要道路 豊田一色線間の道路新設事業に着手を要望します。中根町において面的な整備を検討しているが、工期、実施の可能性を含めて地元の説明してほしい。
15	継続	若園	市道花園役場線道路整備事業	工場出入口の問題を解決し用地取得を早期に行い工事着手してほしい。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

16	継続	若園	若園交流館の改築事業	地域住民の交流と生涯学習の拠点であり、これまで実施したワークショップやアンケート結果を踏まえ、地域に喜ばれる施設として設計を行い、当初計画通りに進めてほしい。また、建て替えに際して臨時の仮設交流館についてもできるだけ利用者の不便にならないものにしていただきたい。
17	新規	若園	避難所施設の建設事業	平成30年度に豊田市に被害をもたらした台風21号および24号の影響で、緊急時避難勧告が当地域に出された。しかし吉原町住民にとって、指定避難場所に避難するためには、警戒河川を超えて移動しなければならないため、新たな避難場所の確保が必要である。
18	継続	前林	都市計画道路の早期整備と周辺環境整備	都市計画道路豊田刈谷線、西岡吉原線の早期完成と、周辺の通学路の安全整備を要望する。また、刈谷ハイウェイアックススマートインターチェンジの開通による交通量の増加が予想されることから、愛知県整備区間の早期事業化を要望する。
19	新規	前林	主要地方道交差点の改良	名古屋岡崎線の堤本町と本田町金池下交差点は、周辺に物流拠点が多いため、終日交通量が多い。そのため、渋滞を避けるため通学路へ進入する車も多く、右折レーン新設の早期設置を要望する。
20	新規	前林	高岡公園の魅力ある公園としての整備	高岡公園において、ソフトボール場、スポーツライミングの整備など、市民が集う南部地区のスポーツ拠点としての充実を要望する。また、隣接する処理施設周辺を、地域住民が集える場としての公園整備を要望する。
21	継続	前林	ふれあいバスの利便性の向上	現在のふれあいバス路線、知立～上丘線を地域核である土橋駅まで延伸を要望します。延伸により、都心部への結びつきが強まり、知立駅からの一方通行であった路線が通学・通勤・買物等の利便性が格段に向上し、利用者増に繋がると考えます。
22	継続	前林	生鮮食品店舗の立地許可	前林地域は、市街化調整区域が多く占めていることから、生鮮食品店舗が立地しておらず、車を利用できない高齢者等にとっては大変不便である。そこで、生活利便性向上のため、売り場面積1,000㎡程度の店舗の立地可能な土地利用を要望する。

【猿投地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	新規	保見	構想区間の早期事業化 国道155線のバス化 保見町～八草町	地域内にある国道155線のバス構想区間の早期事業化を要望する。理由①この道路は本市の緊急輸送道路でもあり、広域交流・都市間交流を支える道路でもある。s47年構想計画策定以来、事業化の目途が立ってない。平成12年の東海豪雨の際に道路が崩壊し、1週間ほど通行止めとなった。昨今の気候変動から想定外の豪雨が起る可能性が高まっている。緊急道路の役目を果たすためには構想区間の事業化が必須となる。理由②この地域は八草町で土地区画事業が進められ、また長久手市、日進市、瀬戸市と隣接しており、通勤者が市外から流入し、慢性的に渋滞が発生している。市が進める安心安全な街づくりの為に早期実現が重要である。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

2	継続	保見	都市計画道路区間の早期事業化・早期着工 豊田知立線田粕～三好ヶ丘 名古屋豊田線 ～亀首 県道 田粕	地域内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。理由①国道155線及び県道足助線の交通量の増大から慢性的渋滞の解消と学生を交通事故から守る為。理由②広域交流・都市間交流を支える道路である155線が片側1車線であり、日常的に渋滞が発生している。隣接する長久手市、日進市から通勤者の車が流入している。また企業誘致の面からも交通事情が改善されなければ誘致がむづかしい状況である。市が進める経済都市の成長と安心安全な街づくりの為には早期事業化が重要である。
3	継続	保見	市道事業化・早期着工・前倒し早期整備 津線の延伸 伊保町～保見町 伊保貝	市道 伊保貝津線の延伸 伊保町から保見町までの延伸を早期実現 理由①伊保町～保見町までの市道を整備することにより、県道足助線の渋滞緩和と歩車分離を進めることにより、児童の安全確保ができると考える。理由②伊保町にあるトヨタ紡織の従業員の増加により、交通量が増大している。トヨタ紡織が工場の増設を行っており、完成後は従業員が最大数千人増える見込みである。また工場に出入するトラック等も増える見込みである。地域住民の苦情が増えることは目に見えている。
4	継続	保見	保見マレット場の増設 9ホールの増設	保見マレット場の増設を要望 マレット場の隣地取得を行い9ホールの増設を要望する。理由①現在の18ホールではマレット場を利用したい市民の要望をかなえることができない。保見マレット場でプレーしている市民は保見地区だけでなく、市内全体から訪れている。理由②毎日の来訪者の人数と場内の駐車スペースがアンバランスとなっており、危険な状況である。前年の回答では現在の敷地内での増ホールを行う回答であった。回答通り行えば増々駐車スペースがなくなり、非常に危険なこととなる。過去に通学児童との事故も起こっており、隣地取得による増設を要望する。
5	新規	保見	児童公園の増設 保見町南山 篠原町	大規模災害時の避難場所を兼ねた地域広場（ちびっこ広場）の新設を要望する。現在保見町には児童公園が1つあるが、過去には3か所あり、各町内の公園として、また避難場所として機能していた。現在は地主への土地の返却により、1か所のみとなっている。また篠原町においても地域広場の新設を要望します。（土地所有者の承諾も得ている）篠原町にはふれあい広場もちびっこ広場も無く早期の新設をお願いいたします。子供たちの遊び場を作ることにより交通事故からの安全確保になり、また災害時の住民避難場所となり、要望する。
6	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通 ①（都）猿投学校通り線 ②（都）猿投停車場線 ③（都）名古屋豊田線（県道） ④（都）御船花本線（県道） ⑤（都）豊田多治見線（国道） ⑥（仮）四郷貝津線 ⑦ 市道大釜鳥坂根線	豊田市北部の都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通は合併地区と旧市との交通網の整備確立のためや、北部における安全安心の生活環境整備、各公共施設・準公共施設・工業施設誘致施策等にも重要である。これらを踏まえた政策的な道路整備の推進を要望する。 中でも特に都）猿投学校通り線の早期実現を最優先事項としての取り組みを強く要望します。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

7	継続	井郷	布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と水辺・親水公園整備	昨年に引き続き 水と緑のまちづくりのために布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望する。
8	継続	井郷	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備 猿投駅は北の玄関鉄道駅として位置づけられているが、現在は学童始め鉄道で運動公園を訪れる人たちが、道なき道を迷いながら利用しているという状況である。その改善策と運動公園利用者を増やすためにも、名鉄の運動公園までの延伸と、パークアンドライド用駐車場の整備（駐車場用地の早期取得） 又豊田市に移管された線路敷地の利活用もあわせ要望する。
9	継続	井郷	北部給食センター移転に伴う跡地利活用について地域要望実現にむけた調整	北部給食センター移転に伴う跡地利活用について地域との要望意見を主体とした利活用の推進の調整の徹底
10	継続	石野	通学路の歩道の設置(自転車共用)	通学路の歩道の設置(自転車共用) 国道153号の勘八町勘八交差点から力石インター東交差点までの歩道整備、秋には香嵐溪方面への渋滞箇所で大変危険である。早急な整備を要望する。 (国交省から事業化連絡あり、継続して早期実施を要望)
11	継続	石野	おいでんバス「さなげ・足助線」経路変更	おいでんバス「さなげ・足助線」は旧三河線広瀬駅から石野運動公園を経由して力石へとという路線となっている。現路線から三河広瀬駅から上切広斎寺・小峰口・下室を経由する路線の変更を要望する。 現路線は人家も少なく、利用者の少ない路線となっている。 要望路線は石野地区3666名のうち、1428名、43%が生活し、利用者増が一番望めるコースであり、石野地区が直面する過疎化対策・人口増対策としても大変有効であり、路線変更を強く要望いたします。
12	継続	石野	石野中学校への進入道路の確保	石野中学校は、緊急時に市民の避難所として指定されているが、国道153号からの正門進入路に限られているため、災害により進入路が絶たれた場合にも避難所の安全確保のため整備を要望する。
13	新規	猿投台	青木小学校交差点改良	同交差点は平成30年1月に死亡事故が発生しており、本来なら抜本的な道路改良が必要である。改良には時間、費用がかかるが、一日も早い対応をお願いします。
14	継続	猿投台	平戸橋西詰交差点改良	交通量の増加、3回での変則信号のため、恒常的な渋滞エリアであり、地域住民ならびに利用者に不便をかけている。用地買収をも視野に入れた交差点改良を望む。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

15	継続	猿投台	勘八公園・前田公園整備推進	勘八公園は昭和57年に都市公園と位置付けられてが事業がストップしている。また、前田公園は市民広場条例の位置づけであり、都市公園と位置づけ、公園としての機能を高めたい。これにより民芸館、民芸の森との連携強化により集客が期待できる。
16	継続	猿投台	名鉄越戸駅の周辺整備及びバリアフリー対策推進	北バイパス事業に合わせて、計画的に整備をするよう要望する。同地区は都市計画決定をされており迅速な、対応を望む。合わせて、高齢社会に対応するため越戸駅にエレベーターの設置を要望する。
17	継続	猿投台	枝下町地内採掘現場修復と産業廃棄物不法投棄監視	枝下町地内の過度な砂利採取は、地域住民に不安感を増大させている。併せて、産業廃棄物の不法投棄も危惧される。管理監督は愛知県ではあるが、豊田市の立場からも愛知県に対して、一日も早い対応をするよう要望する。また、産業廃棄物の不法投棄にも監視の強化を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

【藤岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	藤岡	国道419号の改良整備（藤岡飯野交差点他）	藤岡飯野交差点をはじめとする国道419号は、周辺の住宅地や工場などへの交通集中により、朝夕に各所で慢性的な交通渋滞が発生し、市民生活に支障をきたしている。このため、事業着手された藤岡飯野交差点改良及び迫八反田交差点改良は交通の要衝であり、早期完成に向け集中的な整備を要望する。また、当該国道は小・中・高校生の通学路としての利用が多く、歩道の新設や拡幅などの早期整備を要望する。
2	継続	藤岡	市道藤岡飯野広瀬線改良整備	市道藤岡飯野広瀬線改良整備は歩道もなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされている。また、グリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件であり、早期の改良整備を要望する。
3	新規	藤岡	県道沢田御作線の拡幅整備	県道沢田御作線の藤岡地区と小原地区の境界付近は幅員が狭小であり、加えて視距も悪いため危険が多く、対向車両とのすれ違いも困難である。また秋には足助地区と小原地区間で観光目的の大型バスの利用も見込まれるため、早期の整備を要望する。
4	継続	藤岡	県道大平折平線の拡幅整備	県道大平折平線の折平地区には歩道がなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされているため、早期の拡幅整備を要望する。
5	継続	藤岡	新設市道の整備（北一色～迫～深見～西中山）	藤岡飯野交差点の慢性的な渋滞を回避するための新設道路を要望する。
6	新規	藤岡南	県道北一色東広瀬線田茂平地区歩道・横断歩道設置	歩行者の安全確保のため早期設置を要望する。
7	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期着工	国道419号西中山町地内の渋滞緩和のため、早期着工を要望する。
8	継続	藤岡南	国道419号辻貝戸交差点改良	小・中学校生徒の通学安全確保するため、早期の改良を要望する。
9	継続	藤岡南	藤岡南地区運動広場建設	藤岡南地区には運動広場がないため、早期建設を要望する。
10	継続	藤岡南	国道419号の通学路整備 深見町常楽交差点（西側）歩道設置	小・中学校の通学路の安全確保のため早期設置を要望する。
11	継続	藤岡南	中山小学校体育館建替え	学校の生徒数規模に対し、体育館は手狭であり、全校集まる学校行事など、大変支障をきたしているため、建替を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

【小原地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	小原	市有財産を活用した住宅、宅地整備／永太郎町、小原町、遊屋町	旧老人憩いの家、旧教職員住宅及び平成29年度に取壊された小原郷土館など、おいでん・さんそんビジョンに登載された取組に基づいて未利用な市有財産を活用し、若者移住、若者定住の促進を図るため、住居、宅地の整備を要望する。
2	継続	小原	市道築平川下線の改良／築平・川下町	本路線は、小原、旭、足助地区の地域核を結ぶ重要路線を構成するとともに、近年は地区間の観光拠点を結ぶ観光バス路線として重要性が高まっている。観光シーズンにおける観光バスの通行を考慮し、地域住民の車両と安全に交互通行できる道路改良を要望する。
3	継続	小原	国道419号和紙のふるさと入口の交差点改良／永太郎町	国道419号と市道との取り付けが不整形であることと、観光施設である和紙のふるさとと小・中学校が隣接していることから、観光客の車と児童、生徒及び一般車両が交差することになる。また、通過車両の速度も速く危険な状況であることから、早期に交差点の改良を要望する。
4	新規	小原	和紙のふるさとの国際化への取組／永太郎町	2020年豊田国際紙フォーラムの開催を契機に、豊田小原和紙工芸の世界に向けた情報発信や産業化、市民の国際交流の促進が図れるような事業の企画及び実施を要望する。
5	継続	小原	四季の回廊整備事業の促進／川見町他	四季の回廊ミュージアム構想は、第7次総合計画に位置付けられ順次整備が進められてきた。この構想は、地域資源を活かした観光交流拠点施設の整備事業であり、地区の活性化に欠かせない。烏屋平園地の整備及び川見四季桜の里の拡充整備など、第8次総合計画に掲載されている拠点施設の整備促進を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

【足助地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	足助	富岡町地内、埋立地の開発	富岡町地内埋立地（足助バイパス残土捨て場）の活用については、地質調査まで進んでいるが、具体的な計画には至っていない。 地元自治区では、具体的な開発に向けた検討部会を新盛自治区・大蔵自治区でそれぞれ立ち上げ、足助地区全体の要望書を取りまとめ、市に提出した。 豊田市としての開発計画の早期立案を要望する。
2	継続	足助	公共施設跡地の有効活用	旧足助町時代に活用されていた『老人ホーム跡地』（近岡町）、『足助保健所跡地』（親王町）を始めとして、公共施設跡地の活用計画が、様々な要因で進捗していない。地元自治区に有意義な活用方法の早期実現を要望する。
3	継続	足助	足助地域核エリア再生に向けた取組と香嵐渓100年プロジェクト」の推進	足助のまちづくりについては、これまでも様々な構想や計画が策定されたが実現されたものはほとんどない。現在検討している「（仮）足助地域核エリア再生ビジョン」については、地域住民が掲げる「足助まちづくり宣言」「足助まちづくりプラン」を踏まえ、具現化させることを重視されたい。なお、まちづくりには一定の時間を要するため、継続的な取組が必要と考える。また、平成30年度に取得した足助陣屋跡地については、公衆便所の整備や景観整備を早期に行うほか、地域活性化に最大限活用されたい。 香嵐渓再整備については、平成30年度に「香嵐渓100年プロジェクト」として打ち出されたところであるが、合併時の新市建設計画において掲げられている「香嵐渓施設整備事業」（ライトアップ更新等）、「奥香嵐渓開発整備事業」、「香嵐渓アクセス歩道等整備事業」など、観光資源の整備を踏まえるとともに、香嵐渓が全国レベルの観光資源であり続けられるように中長期的視野に立って戦略的に取り組む必要がある。
4	継続	足助	新盛里山耕第2期計画の早期着工と、拠点施設としての『道の駅』建設	新盛里山耕は、『里山くらし体験館一すげの里一』を拠点施設として『里山耕流塾』など都市と農山村の交流事業を展開している。 平成19年に策定された『山村活性化事業「里山耕」基本計画では、第2期拠点施設の建設が計画されているが、リーマンショック等の影響で実現に至っていない。 区長会早期の計画実現を要望する。
5	新規	足助	安全・安心して利用できる足助地域バス運行の実施	旧足助町時代から運行している足助地域バスにおいて、バス運転手の高齢化が進んでおり、持続的に、安心して利用できるバスの運行が懸念される。 足助地域バスはスクールバスとしての機能もあり、定住の観点からも、今後も児童・生徒が安心して通学できるよう柔軟かつ安定的な運行が必要である。また、地域住民全体にとっても重要な交通手段の1つであり、長年の課題である利便性の向上を図りつつ持続的な運行が必要である。 安全、安心で持続的な地域バスの運行形態の構築と、確実な予算確保を望む。
6	継続	足助	足助支所新築の早期実現	足助支所の新築については、経済状況の悪化から延期されている状況にあるが、景気浮揚・市税収回復が実現された現状から、早急に計画の実行に着手していただきたい。 なお、計画にあたっては、単なる支所の建替ではなく、これからの人口減少や超高齢社会を踏まえ、複合地域核として足助地区、山村地域、豊田市全域といった視点から支所機能の在り方を見出す必要がある。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

【下山地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	新規	下山	市道下山下平入り坂線及び市道下山下田上平線の整備／黒坂町	この2路線は、接続する路線であり、町内の集落を結ぶ重要な路線である。急な勾配に加えて、狭あい危険箇所が多く、車どおしのすれ違いも極めて困難なため、早急な道路拡幅整備を要望する。
2	新規	下山	三河湖周辺の観光整備／羽布町	三河湖観光センターは、下山の観光の核となる施設であるが、施設が老朽化し、バリアフリー化もされていないため、施設の再整備を要望する。また、三河湖左岸の観光道路である市道下山ニタ瀬草木線は、大部分未舗装で降雨による路面の浸食が激しい。且つ、落石が多く事故の危険性をはらんでいることから計画的な整備を要望する。
3	新規	下山	児童公園の整備／大沼町	下山地区には、みんなが集える公園が少ない。支所と交流館が併設されている利点を生かして高齢者から子供まで集える児童公園を下山支所駐車場に整備を要望する。
4	新規	下山	下山交流館のエレベーター及び多目的トイレの整備／大沼町	下山交流館にエレベーターがなく、2階で事業を行う際に階段を使うしかない。また、多目的トイレがなく、高齢者や障がい者が施設を利用しづらいため整備を要望する。
5	新規	下山	トヨタ自動車研究開発施設稼働に伴う宅地整備	令和元年からトヨタ自動車のテストコースが稼働し、従業員の勤務が始まっており、その後他の施設の稼働に連れて徐々に従業員も増えてくる。人口減少に歯止めをかけるためにも、従業員を呼び込むための住宅用地の整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

【旭地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	旭	主要地方道豊田明智線の整備促進	旭地区内の主要地方道豊田明智線の浅谷町～須渕町間のバイパストンネル事業は、平成20年度から用地買収が始まっている。引き続き県と連携し、事業の進捗状況の見える化を含め早期実現に向けた迅速な事業促進と既存道路の安全対策を要望する。
2	継続	旭	上中のしだれ桃渋滞対策としだれ桃維持管理の支援	しだれ桃駐車場へ向かう区間の県道土岐足助線は、急こう配であるうえ道幅が狭く、カーブも多く交通事故等の発生も懸念されるため、道路の拡幅も含めた渋滞緩和対策を要望する。
3	継続	旭	榊野広場埋め立て後の有効活用	矢作ダムの堆砂の搬入・埋立作業が進められており、最終計画平場面積は50,200㎡で、広大な敷地が整備される見込みであるため、早期の埋立完了とその後の有効活用に向けた整備計画の検討を要望する。
4	継続	旭	旭木の駅プロジェクトの継続実施	旭木の駅プロジェクト推進事業は、森林資源の有効活用と地域内経済の循環に寄与するとともに、住民同士の助け合いの精神が息づいた大変効果的な事業でもあるため、今後も継続して実施する事を要望する。
5	継続	旭	小渡地内地すべりによる通行止めの迂回路の安全対策	小渡地内地すべり現場の復旧工事については、愛知県や市関係課の迅速な対応により、早急に着手していただいた。復旧工事の通行止め解除までは約3年間かかると聞いているが、対岸の迂回路は狭小な個所もあり、道路拡幅や重点的な路肩清掃、草刈り等の安全対策を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 令和2年度当初予算への要望

【稲武地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	稲武	「重点」道の駅「どんぐりの里いなぶ」を核とした総合的なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・重点道の駅の整備を進めていく上で、国に対して交付金・補助金の優先的支援を要望する。 ・市は、重点道の駅を核として、道の駅の機能拡張や周辺の整備を進め、併せて稲武地域全体のまちづくりを進めることを要望する。
2	新規	稲武	世界ラリー選手権を活用した地域振興策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・大会の成功に向け、主催者、地域、関係機関、行政が一体となった緊密な連携協力体制の構築を要望する。 ・時間的制約がある中、レース観戦ポイント等の早期整備を要望する。 ・大会開催を契機として、「ラリー開催の地いなぶ」を合言葉とした中・長期展望に立った観光産業振興策の展開を要望する。
3	継続	稲武	雇用と定住をセットとした施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ※人口減少に歯止めがかからぬ中、若年人口の減少は深刻で、近い将来、担い手不足による地域力の更なる低下が懸念される。 ・雇用環境が厳しいため、「定住」と「雇用」をセットとしたI・U・Jターン施策の展開を要望する。 ・特に「雇用」面では、稲武の地域資源やまちの特性に着目した、サテライトオフィス、木質バイオマス（木の駅プロジェクト）活用、6次産業化関連企業誘致を軸とした取り組みの展開を要望する。
4	継続	稲武	「自然エネルギーゾーン」の位置付けと先進施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ※稲武地区は、中部電力の揚水発電所、市管理の大井平公園小水力発電施設、面ノ木風力発電施設、富永町や大野瀬町自治区が導入主体となった小水力発電施設が設置されるなど、民・官による、再生可能エネルギー利活用の先進地区となっている。 ・稲武地区を、再生可能エネルギー利活用先進地区である「自然エネルギーゾーン」として明確に位置付け、民の取り組みを促進するモデル施策の展開を要望する。 ・加えて、再生可能エネルギー学習の場として国内外から多くの来訪者を呼び込むため、地域が包蔵する木材に着目し、木質バイオマス活用施設を設置して、先進施策の見える化の実現を要望する。
5	継続	稲武	面ノ木園地・風力発電所周辺の一体的整備	<ul style="list-style-type: none"> ※面ノ木園地・風力発電所一帯は、天竜奥三河国定公園内にある本市の環境取組のシンボルであるとともに、貴重な自然・環境教育・観光資源でもある。 ※令和2年度開催に向けて招致活動が継続されている「世界ラリー選手権」では、面ノ木園地横道路がタイムトライアルコースとして予定されており、当地はイベントエリアや映像観戦等の最適地となる。 ・稲武が誇る地域資源を活用して、地域経済の活性化に結び付くような観光誘客や子どもたちの環境教育の場とするため、管理道路や風車及び周辺の環境整備を要望する。